



校訓 一、自主自律 一、独立自尊 一、進取気鋭

Hachiman Commercial Senior High School Alumni Association Newsletters

ごあいさつ



近江尚商会創立130周年

会員の皆様にはコロナに負けず元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は近江尚商会活動にご協力、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

近江尚商会は明治23年創立以来、長きに渡り卒業生を送り出し社会の一員として世のため、人のため社会貢献を遂行、学校の名を上げ世間の評価を素晴らしい成果として受け継いでまいりました。恩師をはじめ卒業生一人一人のお陰です。

この130周年記念式典を来年に控え、過去の周年行事に負

近江尚商会会長 中村 浩

けない立派な会として皆様に賛同頂ける集いにすべく実行委員会に於いて討議を重ねている状況です。

私自身、在学中は野球部員として汗と泥にまみれた3年間、甲子園出場をめざしたあの時が今も尚、臉に浮かび、八商はいい学校だったと大きな声で叫びます。

先生も先輩もそして後輩もすべてが素晴らしい仲間であったと思います。そして僅か3年間の仲間が今では終生の仲間として存在しています。夢多き時と一緒に過ごしたわが友との再会に今から心が弾みます。この思いは一人一人の会員皆様の共有できる気持ちと信じます。

以上



近江尚商会会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、母校の教育活動に格別の御理解と御支援を賜り、心よりお礼を申し上げます。

本校は長い歴史を重ね、良き伝統が引き継がれています。しかし、単に伝統のあるだけの学校ではなく「不易流行」という言葉があるように、良き伝統は残しつつ常に新たな取組を進めていく学校でありたいと考えております。その一環として様々な取組を進めています。全国的に注目され

滋賀県立八幡商業高等学校 校長 神崎 善明

ている「近江商人再生プロジェクト」の実施や簿記珠算部が簿記競技大会で団体戦・個人戦ともに初の全国優勝を果たすなど、伝統を踏まえて次の段階へ発展し続けています。これからも本校ならではの商業教育を進め、教育目標でもあります「社会を生きるたくましい産業人の育成」に邁進してまいります。

結びに、近江尚商会会員相互の絆と親睦が深まり、会員各位のますますの御健勝と御活躍をお祈り申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

令和3年度 近江尚商会役員組織

会長 中村 浩(75回)

顧問 川村 純市(70回) 橋本 健(72回) 白井 治夫(72回)

副会長

柴田 雄(78回) 中野 憲司(85回) 喜多川 秀男(90回) 福井 義定(79回) 村田 光男(83回) 岡田 ひで子(92回) 麻原 育夫(90回)
(東京尚商会) (近江八幡支部) (京都支部) (阪神支部) (女性部会長) (東海支部)

会計監査

杉田 弘治(71回) 隋井 義子(75回)

本部役員

福永 博行(86回) 岩佐 正博(87回) 大野 泰男(87回) 井上 京子(94回) 太田 淳子(96回) 奥村 伸司(97回) 村松 謙衛(105回) 中西 利之(106回)
女性部会 女性部会 会報委員長

副会長 柴田 雄(78回) 近江八幡支部長 喜多川 秀男(90回) 女性部会長 岡田 ひで子(92回)

本部事務局

事務局長 大橋 正幸(93回)

事務局員

平野 みゆき(98回) 中村 正人(106回) 小川 健太(119回) 藤森 景子(119回) 北岡 明子(120回)

令和2年度 近江尚商会会計 決算書報告書

(単位 円)

収入の部			
項 目	予 算 額	決 算 額	
前年度繰越金	1,411,242	1,411,242	
入会金	2,340,000	2,330,000	
年会費	1,300,000	1,205,000	
支援協力金	1,300,000	1,346,700	
寄附金	144	0	
雑収入	70,000	0	
預金利息	14	10	
合 計	6,421,400	6,292,952	

収入決算額	支出決算額	差引残高	備 考
6,292,952	3,996,788	2,296,164	次年度へ繰越

支出の部			
項 目	予 算 額	決 算 額	
会議費	700,000	754,389	
旅費	300,000	0	
支部活動費	300,000	43,000	
通信費	50,000	57,180	
リスト出力代	50,000	5,790	
事務局費	200,000	61,820	
会報費	2,100,000	1,992,199	
事業費	2,000,000	612,029	
振込手数料	200,000	117,551	
新入会員記念品代	200,000	118,830	
史料館整備費	0	0	
雑費	120,000	134,000	
予備費	101,400	100,000	
合 計	6,321,400	3,996,788	

令和3年3月31日

近江尚商会

会計監査

杉田 弘治

会計監査

随井 義子

全国支部長会議報告

令和3年度の「全国支部長会議」は7月17日（土）、ホテルニューオウミで開催されました。

各議題および報告事項は下記のとおりで、満場一致で可決されました。

1. 令和2年度 事業報告について
2. 令和2年度 会計報告および会計監査報告について
3. 令和3年度 事業計画（案）について
4. 令和3年度 会計予算（案）について
5. 令和3年度 近江尚商会役員組織について
6. 会報発行について
7. その他
 - ・近江尚商会創立130周年記念事業について
 - ・年会費納入状況報告（令和2年度）について



令和3年度 事業計画

1. 近江尚商会 創立130周年記念大会準備
2. 母校教育活動への支援
3. 近江尚商会 会報発行
4. 女性部会の活動
5. 各支部活動の活性化
6. 次世代会員の活動の活性化
7. その他 各種団体の行事への参加



近江尚商会創立130周年スローガン・シンボルマークが決定しました!!

天八魂「継承」と 「新たな伝統」の始まり

3年2組 河井 ひなた



3年5組
奥野 佳音

私は高校に入学し、八幡商業の古き良き伝統を知りました。しかし、近年コロナウイルスの影響で、学校生活や部活動で多くのことが制限され、私自身も部活動で先輩方から継承してきたことができなくなりました。そのため、継承してきたことだけでなく、新たな一歩を進むため、今の社会を生きる私たちに合ったやり方も加え、伝統として引き継いでいくべきだと思い、このスローガンを考えました。

「尚商会」の尚を、空と滋賀を象徴する琵琶湖に見立て、青色をベースに配色しました。全体に琵琶湖が空に覆われるデザイン。「130」の文字は、空と琵琶湖に溶け込むように滑らかな線で描きました。文字は八尚カラーのエンジ色にしています。



簿記珠算部

「令和3年度第37回全国高等学校簿記競技大会」

団体・個人優勝

令和3年7月18日(日) 会場：関西学院大学

団体の部(47校参加 4人1チーム) 初優勝(初の日本一)

個人の部(232名参加)

3年1組 吉田 海翔 (よしだ かいと) 優勝(第1位)
3年5組 平田 遥太 (ひらた ようた) 第3位(第3位)
3年3組 澤 歩菜 (さわ あゆな) 優良賞(第9位)

この大会は全国商業高等学校校長会および公益社団法人全国商業高等学校協会(全商)が実施する簿記の能力を競う大会。規定時間内に簿記に関する問題を解き得点を競うもの。団体の部と個人の部がある。全国47都道府県で予選を行い、そこで優勝した学校のみが団体として出場が認められる。まさに、高校生の簿記日本一を決める大会である。

過去優勝したのは岐阜県・静岡県・愛知県の学校のみ。最近の20年間では、優勝旗が岐阜県から出たのはわずか1回だけ。そういった状況の中での今回の優勝は快挙である。

以下、大会で活躍した簿記珠算部部长 3年生の平田遥太さんのコメントです。

全国大会を終えて

7月に行われた全国商業高等学校協会主催 第37回簿記競技大会において、団体の部で全国優勝を果たすことができました。一昨年は準優勝、昨年は新型コロナウイルスの影響で中止という悔しい時間が続きましたが、先輩方から引き継いだ思いを胸に悲願の優勝を成し遂げることができ、とても嬉しく思います。

私たちはこの大会のために1年生の頃から練習を開始しました。顧問の先生や先輩方から教わった知識をもとに、膨大な練習量と積極的な教えあいでさらに得点を磨きました。

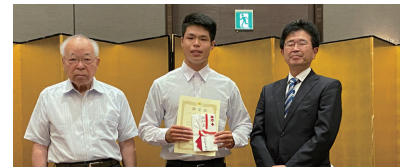
そのため、緊張の中にも確かに自信を持ちながら、本番に臨むことができました。

大会練習の日々で得た経験や、ともに部活動に励んだ仲間を大切に、これからの成長に繋げていきます。



オリンピック ホープスチェコ大会

令和3年9月10日～12日カヌースプリントオリンピックホープスチェコ大会(ジュニアU17代表)
3年4組 岩井 壮太君が出場されました。



500m 準決勝 6位 タイム1分51秒703
200m 準決勝 7位 タイム 38秒800
準決勝タイム結果での世界順位
500m 27位
200m 17位

硬式野球部

令和3年度秋季近畿地区
高等学校野球滋賀県大会

優勝 11年ぶり14回目

令和3年10月3日(日) 球場：皇子山球場

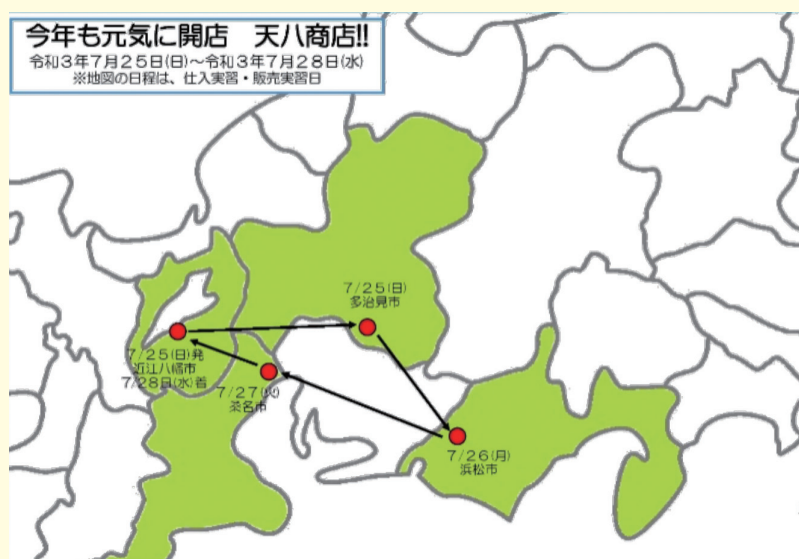


令和3年10月23日(土)に皇子山球場で開催された、令和3年度秋季近畿地区高等学校野球大会においては、1回戦で本大会準優勝の和歌山東高校に1-3で惜負しました。

令和3年度 第8回近江商人再生プロジェクト

今年度は、コロナ禍のために実施日数を3泊4日に変更して実施しました。そのため、販売実習の回数は維持しながら、感染対策にも注意しながらの実施でしたので、滋賀県の周辺での実施となりました。短期間ではありましたが、学びの多い販売実習となりました。

月日	行 程	宿泊地
1日目 7/25 (日)	近江八幡発 — 多治見着 【多治見市内販売実習①】 昼食 【多治見市内販売実習②】 — 豊田泊 (8:00 発) (10:00 着) (10:00 ~ 12:00) (15:00 ~ 17:00)	豊田
2日目 7/26 (月)	豊田発 — 浜松着 【浜松市内販売実習①】 昼食 【浜松市内販売実習②】 浜松発 — 豊田泊 (8:00 発) (10:00 着) (10:00 ~ 12:00) (15:00 ~ 17:00) (17:30 発) (19:30 着)	豊田
3日目 7/27 (火)	豊田発 — 桑名着 【桑名市内販売実習①】 昼食 【桑名市内販売実習②】 桑名発 — 鈴鹿着・泊 (9:00 発) (10:00 着) (10:00 ~ 12:00) (15:00 ~ 17:00) (17:30) (19:00)	鈴鹿
4日目 7/28 (水)	鈴鹿発 — 近江八幡帰着 【近江八幡市内販売実習】 昼食 午後：会計処理、帰校式 (8:00 発) (10:00 着) (10:00 ~ 12:00) (15:00)	



近江尚商会会費（全会員対象）と各支部会員の会費のご協力をお願いします。

- (1) 近江尚商会会費（年間2,000円）は、尚商会全体の活動（会報発行、各支部の補助等）のための資金や学校への補助（施設・設備等）として使われております。
- (2) 各支部（独自）会員会費は、各支部運営資金や活動資金として使われております。上記のとおり、各会費は貴重な資金としてご納付いただいております。それぞれの会費につきまして、みなさまにご協力いただきますようお願いいたします。

近江尚商会創立130周年記念事業への協力お願い

近江尚商会は、明治25（1892）年2月18日に滋賀県立八幡商業高等学校の同窓会として発足しました。

令和4（2022）年に、創立130周年を迎えるにあたり八幡商業高等学校の発展を応援するため、史料館の改修工事費や近江商人再生プロジェクト応援基金等を拠出していく所存でございます。

また、令和4（2022）年12月4日には、記念式典の開催を予定しておりますので、多数のご参加をお待ちしております。みなさまのご協力・ご支援をお願いいたします。

募金の期間：令和3年12月1日～令和4年11月30日

募金の方法：1口5,000円

1. 郵便振替 「近江尚商会」口座へ
2. 現金書留 滋賀県立八幡商業高等学校内「近江尚商会創立130周年記念実行委員会」あて
3. 現金 各実行委員より「近江尚商会創立130周年記念実行委員会」事務局へ

※正式な協力への趣意書を、同封しております。募金は、寄附金控除の対象になります。



編集後記

今回の会報誌は昨年と同様コロナ禍により、編集会議も開催できず残念ながら簡略した会報誌となりました。次回の会報誌は、例年通りの発行ができるよう取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。
(中西)